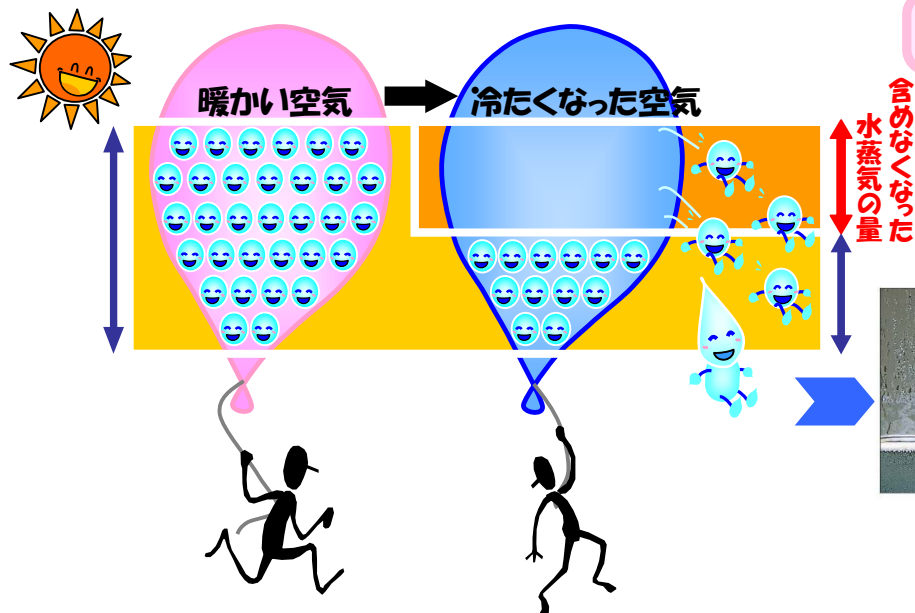


結露教室



結露の仕組み

夏場などの空気が暖かい時は、多くの空気中の水分(水蒸気)を含む事が出来ます。

しかし、冬場の空気が冷たい時には水分を多く含む事が出来ない為、あふれた水蒸気がサッシの廻りに水滴となって表われてしまうのです。

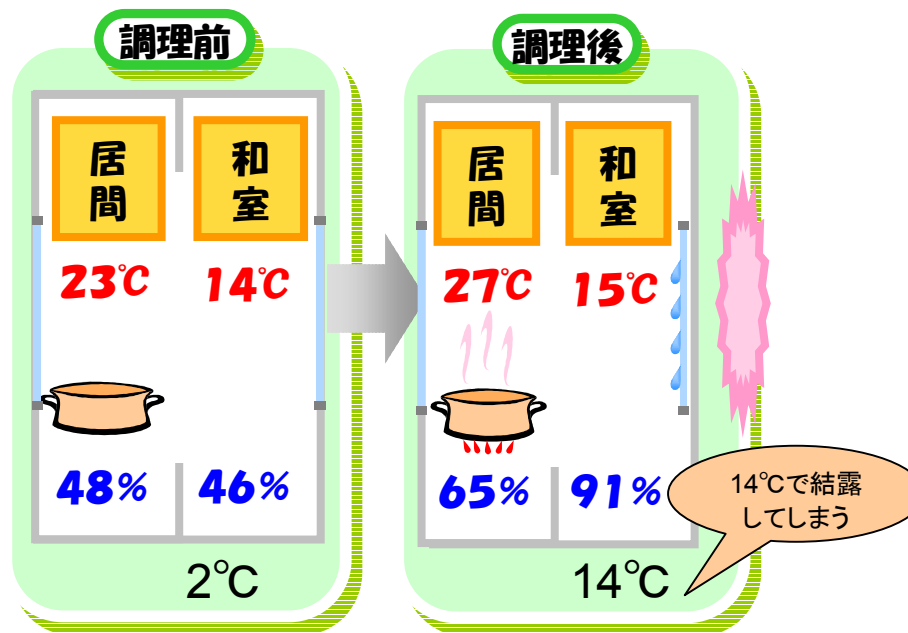
壁紙がはがれたり、カビの原因にも!

居室にて鍋物を作った際の結露発生状況

キッチン等でお料理をすると、湿度が上昇し、隣接する部屋に湿度も流れ込みます。

図の調理した部屋の隣の和室は、調理前は気温が2℃で結露したのですが、調理後は湿度も上がり14℃で結露するようになってしまいます。

露点



NHKためしてガッテンの実験より

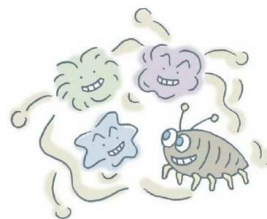
結露教室

結露を放っておくと・・・

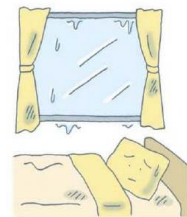
ダニやカビが繁殖し易くなります！

ダニやカビは湿度70%ぐらいから盛んに繁殖します。しかし、湿度55%以下では活動が弱まるので、適度な湿度条件を作ることが、ダニやカビの発生を抑えることにつながります。

ダニやカビは、ぜんそくやアトピーなども引き起こし、健康を脅かす原因にもなるので、普段の生活の中でも気をつけたいものです。



- ・カビが発生
- ・カビを食べるダニが発生



- ・窓やカーテンがグッショリ・・・
- ・押入れや布団がジメジメ

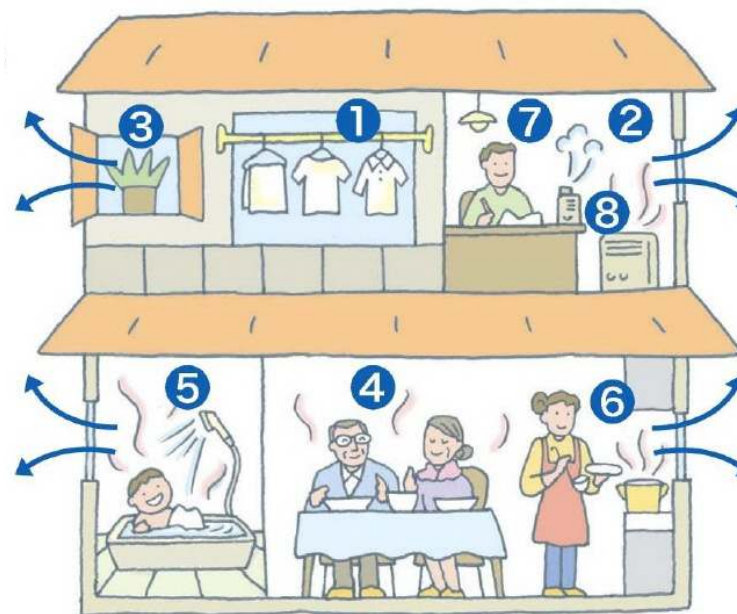


- ・健康に悪影響をおよぼす
- ・家の美観をそこねる

結露を抑える為のポイント

- ①洗濯物を室内に干さない
- ②カーテンやブラインドを長時間閉めておかない
- ③草木のある場所は特に換気をする
- ④人の呼吸や発汗も一因、寝る前の換気を
- ⑤お風呂のフタや浴室のドアを開けっ放しにしない
- ⑥炊事・食事の時は換気を
- ⑦加湿器の使用は控えめに(除湿器は効果的)
- ⑧開放型暖房機の使用を控える

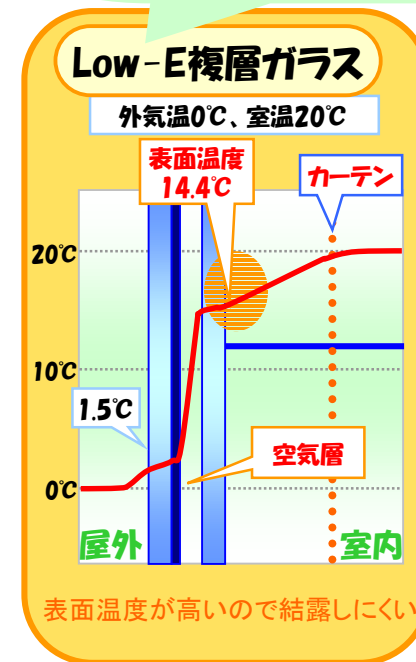
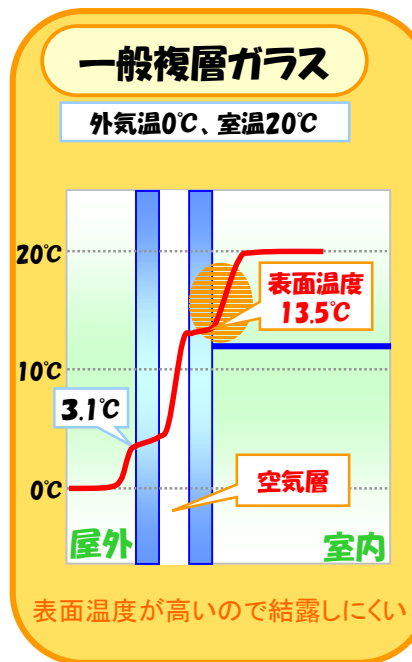
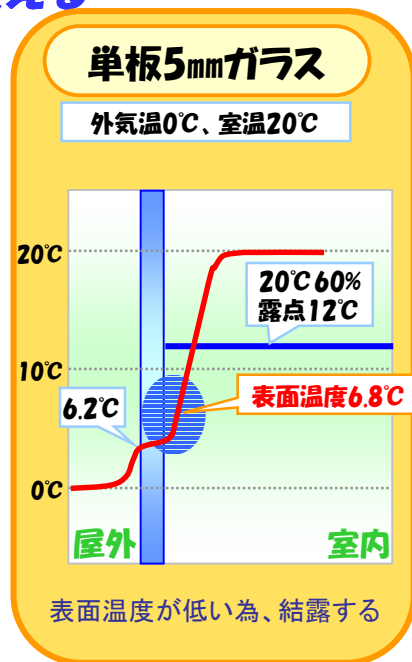
...etc



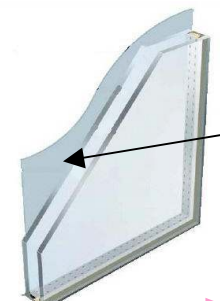
結露を抑制する窓①

そんな嫌な結露を防ぐにはどうしたら良いかご紹介致します

Point1 ガラスを変える



現在、ご家庭で単板(一枚)ガラスをご利用のお客さまは、複層(ペア)ガラスのご利用で大きな効果が期待できるでしょう。



結露しやすい

結露しにくい

※図はあくまで外気温0℃室温20℃の場合で、温度差が激しい場合は結露してしまう恐れがあります
 ※ガラス面のみの結露状況です

結露を抑制する窓②

Point2

サッシを変える

やはり結露が気になる場所はガラスよりもアルミ部のサッシ。
最近では樹脂製のサッシも人気が出て来ています！

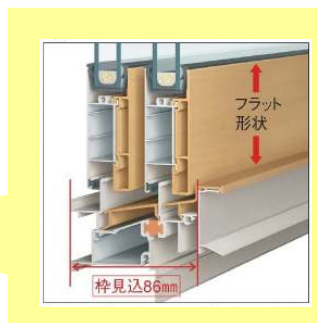
結露しやすい

①アルミサッシ+単板ガラス

②アルミサッシ+複層ガラス

③アルミ・プラスチックの複合サッシ+複層ガラス

樹脂はアルミに対して約1/1000の熱伝導率なので、外気が室内に伝わりにくいです(結露しにくい)



樹脂

(工事後も見える部分)

アルミ

(工事後は隠れる部分)

樹脂

商品名:エピソード

※違う色、窓の形もあります

④樹脂サッシ+複層ガラス(樹脂製内窓含む)

結露しにくい



商品名:APW(ハイグレード樹脂サッシ)

※違う色、窓の形もあります



商品名:ブラマードU(二重窓)

※違う色、窓の形もあります

